



演劇創作の方法を用いた 青少年育成ワークショップの20年

1994年にスタートした「演劇ビギナーズユニット」は、初心者のための演劇ワークショップという形を取りながら、社会人としてのコミュニケーションスキルや自己表現について学ぶ機会を提供してきました。20周年を迎える今年、記念シンポジウムと、演劇ビギナーズユニットならではのワークショップを行い、演劇ビギナーズユニットの20年を振り返りながら、長く続いてきた理由や、青少年育成の視点から見た演劇創作の過程には何が繰り返されているのか、などを探ります。



I シンポジウム

日時

2013年7月6日(土)
第1部 15:00-17:00 / 第2部 18:00-20:00

第1部 演劇創作のコミュニケーション力

演劇は集団で創られます。見ず知らずの他人同士が一つの演劇作品を創りあげる「演劇ビギナーズユニット」の過程には、合意形成や、コミュニケーション能力向上のためのヒントが数多くあるのではないか。演劇のみならずコミュニケーションに着目して活動をしている方々によるシンポジウムです。

パネリスト ▶ 田辺潤

西田 尚浩 (京都市東山青少年活動センター 所長)
田辺 剛 (下鴨車窓/創作家、演出家)
前畠 佳史 (島津エス・ディー株式会社)
村上 直之 (林戸ビエンナーレ2013 ディレクター)

モデレーター

岡野 真大 (私立光華小学校 教諭)



第2部 演劇ビギナーズユニットの20年を語る

これまでの受講者は300人を超える、講師として関わった演出家や俳優、スタッフは50名以上、7名が演出家として関わってきました。演劇ビギナーズユニットの魅力とは、失敗談や自身を変えた経験など、ビギナーズユニットに関わったプロデューサーや演出家等によるトークショーです。

パネリスト ▶ 田辺潤

大熊 ねこ (遊劇団/俳優)
杉山 雄 (INPO研究事務局長/京都府立京西高等学校国際化活動センター長/演劇プロデューサー)
土田 英生 (MONO 代表/創作家、演出家、俳優)
山崎 彰 (悪い芝居/創作家、演出家、俳優)

モデレーター

丸井 重樹 (演劇制作会)



定員 各80名 (申込優先制)

入場料 各500円

*定員を超えての入場はお断りすることがあります

II ワークショップ

日時

2013年7月7日(日)
A・C = 13:00-15:00 / B・D = 15:30-17:30

演劇ビギナーズユニットでは、参加者自らが舞台作品を創りあげると同時に、演劇やダンスの手法を使って他者とのコミュニケーションについて学びます。短い時間ではありますが、その一端をご紹介します。また、演劇やダンスの上演に欠かせない舞台監督や制作に興味のある人向けの講座も行います。

A

コミュニケーション力を高める

人はリラックスした時には深く息をしていますが、緊張した時などは呼吸が早く浅くなります。呼吸を把握すること、相手の呼吸を感じることで、演劇における演技を学び、コミュニケーションについて学ぶワークショップです。



講師
土田 英生
(IMONO代表/創作家、演出家、俳優)

B

身体でコミュニケーションする

「からだ」から発信されている情報を注意深く受け取ることは、コミュニケーションの扉を開くことにつながります。身体の使い方を見直すことによって、普段退化させてしまっているかも知れない身体感覚を研ぎ澄ませましょう。



講師

隣地 栄歩
(セレノグラフィカ代表/振付家、ダンサー)

C

制作ってどんな仕事をするの?

制作の仕事って今ひとつよくわからないことがありますか? どこまでやればいいの? 打ち上げの幹事まではあるの? どうすればお客様を呼べるの? 素朴な疑問と一緒に考えながら、制作力アップのための基礎技術を学びます。



講師
杉山 準
(INPO執行事務局長/演劇プロデューサー)

D

舞台監督の仕事

「舞台監督の仕事」とひとこと言つても、規模やジャンルに応じて千差万別です。それでもなにか実感するものはあるのか、あるとしたらそれこそが舞台を作ることにとって大切な何かなのではないか、そんなお話をできればと思います。



講師

夏目 雅也
(KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 テクニカルコーディネーター)



定員 各15名 (先着申込制、定員になり次第締切)

参加費 各1,000円

参加資格 京都市に住まい、勤務先もしくは学校のある、中学生年齢から30歳までの青少年

20 years

日 時

2013年

- 7月6日(土) シンポジウム
第1部 15:00-17:00
第2部 18:00-20:00
- 7月7日(日) ワークショップ
A・C 13:00-15:00
B・D 15:30-17:30

会 場

京都市東山青少年活動センター

〒605-0862 京都市東山区清水5丁目
130番地の6(東山区総合庁舎北館2階)

TEL 075-541-0619



お申し込み方法

お電話またはメールにて、下記内容を添えて、京都市東山青少年活動センターまでお申し込みください。

- ・お名前
- ・ご連絡先
- ・年齢
- ・参加希望
(シンポジウム 第1部・第2部
/ワークショップA・B・C・D)

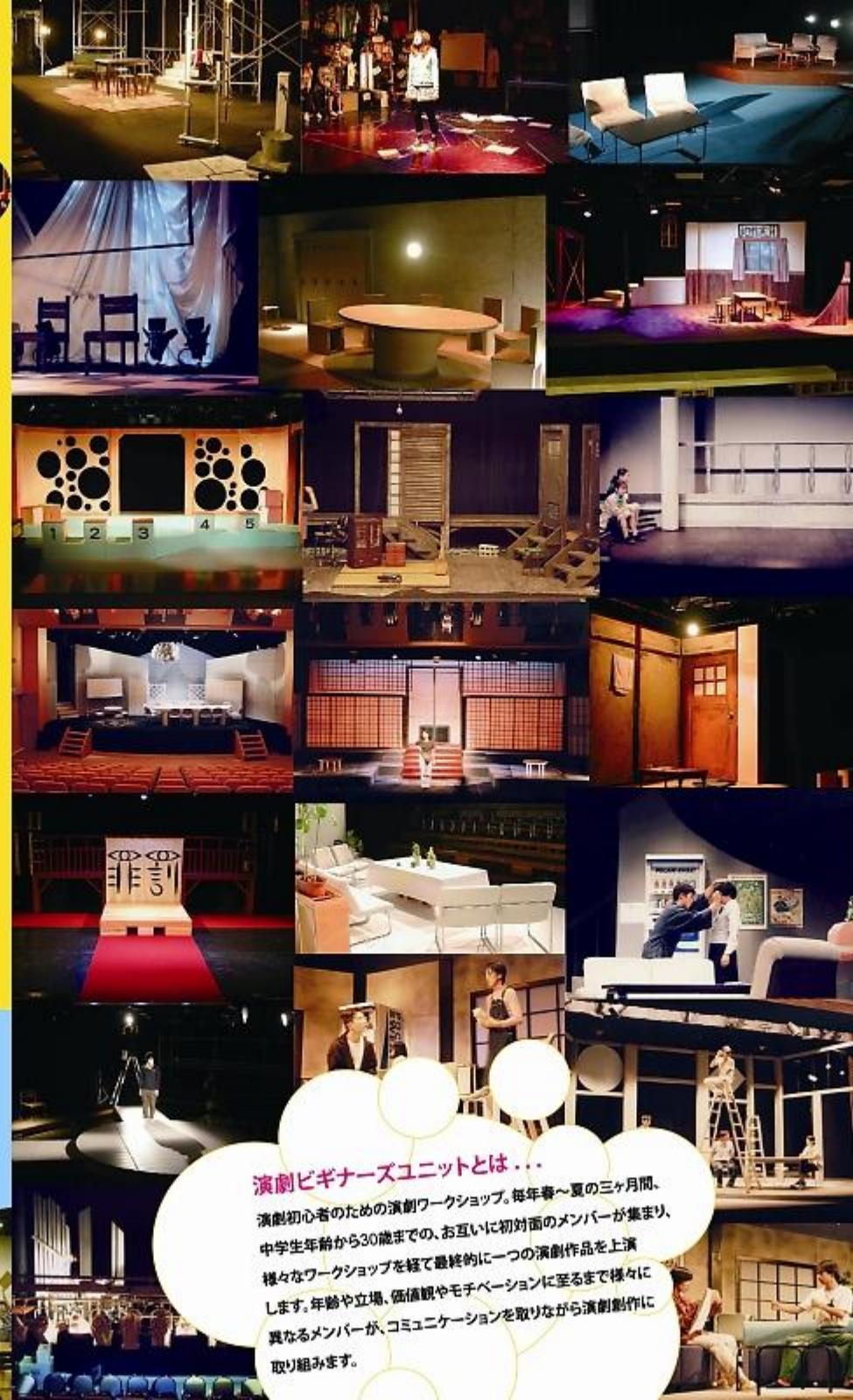
6月10日(月)
受付開始!

お申し込み・お問い合わせ先

京都市東山青少年活動センター
(月曜～土曜 10:00～21:00 水曜休業)
(日曜・祝日 10:00～18:00)

TEL 075-541-0619
E-mail higashiyama@ys-kyoto.org

<http://www.ys-kyoto.org/higashiyama/>



演劇ピギナーズユニットとは…

演劇初心者のための演劇ワークショップ。毎年春～夏の三ヶ月間、中学生年齢から30歳までの、お互いに初対面のメンバーが集まり、様々なワークショップを通じて最終的に一つの演劇作品を上演します。年齢や立場、価値観やモチベーションに至るまで様々な異なるメンバーが、コミュニケーションを取りながら演劇創作に取り組みます。

profile

- ワークショップ
- シンポジウム

*50音順

● 大熊 ねこ (おおくま・ねこ)

演劇ピギナーズユニット2007～2009 演出
俳優。1980年、大学在学中に劇団「遊劇体」に入団。2006年より演劇初心者や小中高生のためのワークショップ指導に携わる。2009年、文部科学省によるワークショップデザイナー育成プログラムを作った。2007年、第9回関西現代演劇俳優賞女性賞受賞。

● 関野 真大 (あらの・まさひろ)

演劇ピギナーズユニット2008～2010 演出
ケーピーズ主宰。私立光華小学校(京都市右京区)教諭。
学生時代から小劇場演劇に携わり、現在もアマチュア演劇家として活動中。また、30歳頃からファシリテーションに興味を持ち、教育ファシリテーターとしても活動している。

● 杉山 準 (すぎやま・じゅん)

演劇ピギナーズユニット初代(1994～1995) プロデューサー
演出プロデューサー、NPO法人劇研理事・事務局長。京都府立在京芸能いきいき市民活動センター長。2000～2008年、京都の小劇場「アトリエ劇研」プロデューサー、舞台芸術の振興ならびに、文化・芸術を通じて社会に貢献する多様な事業を行う。

● 隅地 茉歩 (すみじ・まほ)

振付家・ダンサー。ダンスカンパニーゼノグラフィ代表。繊細な身体操作と複雑な作品創りが持ち味。近年はダンスの普及のため年間3分の1を全国各地への遠征で過ごす。
TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005にて「次代を担う振付家賞」受賞。

● 田辺 刑 (たなべ・つよし)

演劇ピギナーズユニット1999 受賞生 / 2012 演出脚本
「下鶴間座」主宰。劇作家、演出家。劇場「アトリエ劇研」ディレクター。2006年秋より文化庁新進芸術海外留学制度で韓国・ソウル市に一年間滞在し、劇作家として研修する。
日本劇作家協会会員、同協会京都支部事務局担当、NPO法人 京都舞台芸術協会理事長などを務めている。

● 土田 英生 (つちだ・ひでお)

演劇ピギナーズユニット初代(1994～1995) 演出脚本
劇作家・演出家・俳優、MONO代表。
「その鉄塔に男たちはいるという」で第6回OGM戯曲賞大賞(1988年)を受賞。
また「青葉さん」(NTV)、「東京タワー」(CX.)などテレビドラマの脚本も多数。

● 夏目 雅也 (なつめ・まさや)

2005年より舞台監督としての活動を開始。コンテンツボーラーダンスを中心とした演劇・オペラ・音楽など様々な分野に関わる。2011年よりKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭
テクニカルヨーディネーター。

● 西田 尚浩 (にしだ・よしかる)

演劇ピギナーズユニット1994-1997,2001,2011～ 監修
1981年以来、京都市青年の家、青少年活動センターで青少年育成の仕事に携わる。1994年、中京青年の家で演劇及びダンスの集団創造プログラムに着手。創造表現活動における集中的なグループ体験に注目し、様々な創造表現活動の支援プログラムを実施。

● 前畠 住史 (まへだ・すみし)

ユーザー系IT会社に勤務し、近年は新卒者の採用などにも関わる。自己研鑽として参画し続けているソフトウェアテストシンポジウムにおいて、西田尚浩と共に演劇ピギナーズユニットを紹介(2008年)。演劇とソフトウェアテストの類似について対談した。

● 村上 直之 (むらかみ・なおゆき)

京都大学卒業後、助手をへて神戸女学院大学教授。芸術工学研究所ディレクター兼務。
主著に『近代ジャーナリズムの誕生』(岩波書店)、翻訳『アウトサイダーズ』(現代人文社)、CDROM『見立て発想法』(芸術工学研究所)。などがある。

● 丸井 重樹 (まるい・しげき)

演劇ピギナーズユニット2000-2005,2008-2013 プロデューサー
演出制作。KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 事務局員。
演劇ピギナーズユニットには1998年より制作助手として参加。2000年よりプロデューサー。
自身のプロデュースユニットM_Produceを主宰。

● 山崎 拓 (やまざき・あきら)

演劇ピギナーズユニット2010-2012 演出脚本
「恋い芝居」代表。京都市上京区在住の演劇作家。
年1～2本の劇団公演を打ちながら、俳優としても、西へ東へ数多くの出演歴を持つ。